

令和 6 年 11 月 6 日

会員各位

令和 7 年度からの会費改訂について

平素より当学会の発足趣旨にご賛同いただき、学会活動へのご参加、ご協力、ご支援等、誠にありがとうございます。今年 6 月に開催された総会において、以下の会費改訂が承認されましたこと、ご連絡をさせていただきます。皆様のご理解を賜り、これまで通り学会活動へのご協力・ご支援をお願い申し上げます。

会員種別	現在	令和 7 年度以降	備考
正会員（一般）	9,000 円	11,000 円	
正会員（シニア）	4,500 円	5,500 円	65 歳以上
正会員（永年）	—	—	70 歳以上かつ在籍 30 年以上
海外会員	45 米ドル	5,500 円	円建てに変更，外国籍かつ海外居住
正会員（学生）	4,500 円	2,000 円	21 歳未満は無料
賛助会員	20,000 円	24,000 円	1 口あたりの金額

平成 27 年度に正会員の会費を 7,000 円から 9,000 円に引き上げて以来、年 2 回の学術講演会や国際シンポジウム、ワンデーセミナーや各種研究会活動等、活発な活動を通じて、健全な財政を行ってまいりました。しかし、会員の高齢化および少子化の進展による長期的な一般正会員の減少に伴う会費収入の減少と、エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇による事務所経費等の増加、コロナ禍の影響や大型の受託業務の減少、講演会等への参加者減少等により、令和に入り、毎年収支の赤字を計上することとなり、大幅に学会資産を減少（約 2,000 万円）させることとなりました。

令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症移行による社会活動の正常化に伴い、今後事業収支は改善していくものと期待されますが、会員の高齢化は今後も進むことや昨今の物価高も今後影響してくる可能性もあることから、収支を改善して公益法人として長く事業を継続していくためには、抜本的な改革を行う必要があります。

財政健全化のために、講演会等の更なる活性化による事業収入の改善努力や、経費削減のための事務所移転や IT 化によるペーパーレス等による経費削減を進めてまいりますが、それでも不足する収入を補うために、令和 7 年度より、個人会員会費並びに賛助会費の値上げをお願いせざるを得ません。ただし、学生会員に関しては、将来の学会を背負う若手会員を増やす目的で、会費を下げることで、また、将来の進路を考えている若い世代に物理探査に興味を持ってもらえる機会を増やすため、21 歳未満の学生は会費無料とすることにご理解を賜りますようお願い致します。

以上が、会費改定に至った次第であります。今後は、上記方針に基づいて学会運営を行い、出来るだけ早い時期の財政健全化を目指すことで、会員サービスの維持・拡充、更に一般社会への貢献にこれまで以上に力を注ぎ学会活動の活性化を図りたいと考えております。また、財政健全化や今後の学会運営方針につきましては、広く会員の皆様からのご意見を賜りたく、以下にご意見投稿フォームを設置いたしました。2024年12月末までにご意見をお寄せ下さい。

会員の皆様からのご意見投稿フォーム：

<https://forms.gle/uMqkdKRFs8qpRL8v8>

物理探査学会会長 松島潤

参照資料：

令和6年度通常総会資料 第3号議案：会費改定の件（16ページ）

https://segj.or.jp/files/event/r6soukai_shiryou.pdf